

日産追浜工場見学のとめ

開催日 平成 22 年 3 月 30 日

見学先 日産自動車 追浜工場

参加者 大人 27 名 子供 9 名

日産側出席者 追浜工場総務部長、追浜工場ゲストホール副館長、ほか

主な行事

1、工場概要の説明

敷地面積 170 万平米

従業員数 3,100 名

生産能力 43 万台・年

2、工場見学

生産現場の説明は成人グループと子供同伴グループの 2 班編成で行われた。

産業ロボットや作業者の働く真近で説明を受けながら約 1 時間、自動車生産の現場をじっくりと見ることが出来た。

ロボットと人間との協働生産（溶接、搬送などはロボット主体、部品の組み込み、ドアの取り付け、総合テストなどは人間主体）、同一ラインで複数の型式、色違いの自動車が次々と生産される姿は多くの見学者に感動を与えた。

現在 1 日の生産数 1300 台、2 交代の採用、ベルトコンベアの流れの中で次々と生まれる自動車、リーマンショックを乗り越え、次代に向けたエネルギーを感じた。

3、見学後の質疑

①ロボットの導入と労働者数の変化

- ・ 当初から見ると追浜工場としては 4 分の 1 ほどの人員が削減された。
- ・ 一方市場のグローバル化により 海外生産拠点の指導者として新たな役割が生じた。

②「日産に入ろうとした動機について教えて欲しい。」など子供達からの質問に、ものづくりへの憧れなど真摯な答えが感動を誘った。

③その他

最後に、日産の電気自動車のプレス発表が行われたことの紹介があった。

日産の新しい時代の幕開けの日と奇しくも一致した日でもあった。

以上